



総合的な化学物質管理

化学物質は、適切に使用管理されないと、生産や製品を通じて健康や環境に重大な影響を与える恐れがあり、化学物質の使用管理は法規制の遵守のみならず、リスク評価に基づく事前対策が必要不可欠です。東京エレクトロングループでは、健康や環境への重大な影響を未然に防止するため、化学物質の有害性のリスク評価を実態把握に基づき行い、生産に使用される化学物質および製品に含まれる化学物質の適正管理徹底に取り組んでまいります。

PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)への対応

化学物質の環境への排出状況を把握する方法として、PRTR法の導入が始まりました。国内では、1997年に環境庁より、一部の地域でパイロット事業として試行され、1999年に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」が公布され、2001年4月から施行されます。東京エレクトロングループでは、PRTR対象物質の物質収支の管理および行政への報告を行ってまいります。

MSDSのデータベースの構築

東京エレクトロングループでは、各事業所で化学物質の導入時に審査、登録システムを構築して、MSDSの管理および運用を行っていますが、今後は、グループ全体でもMSDSの運用を行えるよう、イントラネットによるデータベースの構築を進めてまいります。

MSDS(Material Safety Data Sheet) : 製品安全データシート

